Higashimurayama City International Friendship Association

東村山市国際友好協会　第112号

盛大に開催!!
全会員向けのクリスマスパーティー

会員交流委員会によるイベント、当協会のクリスマスパーティーがサンパネル2階のホールで12月16日㈮に開催。中央に料理・飲物、壁前に椅子の立食形式の広い会場に、開演7時半になると80人を超える会員らが集まりました。

伊藤委員長の司会、岩瀬会長の挨拶、大野前会長の乾杯で開始。参加費無料ですが豊富な食べ物。参加者はにぎやかに歓談し交流の場を持ちました。

次にバンド「ユッキー&ザ・ノーグッチーズ」による懐かしい曲目の歌と生演奏。続いて派遣生のパフォーマンス。「空手」の演技が決まり拍手喝采。

そして「ビンゴゲーム」。「ビンゴ」と歓声が上がると豪華な賞品や参加賞が次々と手渡され、会場は最高に盛り上がりました。

再びバンド演奏では全員で「赤鼻のトナカイ」を合唱。最後に折笠副会長の挨拶で、盛大な交流の会が閉められました。

派遣生による空手パフォーマンス

盛りだくさんのごちそう

華やかな衣装でプレスリーになりきって

市長からのご挨拶

イ市学生派遣団が帰国報告書を携え市長を表敬訪問

平成28年度（第33回）イ市学生派遣団が11月14日㈪、渡部尚東村山市長を訪ね、団員が作成した報告書を手渡しました。

市長との歓談の中で団員それぞれが、訪問後の今の思いを語りました。

ハイテクなビンゴゲーム

また、永きにわたりイ市と築き上げてきた「人と人」の繋がりの意味を理解し、今後の市民交流の一翼を担う存在に成長した様子が団員の報告から伺えました。

終わりに、当協会岩瀬会長より学生派遣団の解団宣言が行われました。

（記事は、当協会HPより一部転載）

笑顔溢れる国際交流スピーチ大会

多文化共生を推進する活動を市民にアピールするため、市民相談・交流課主催のスピーチ大会が、11月26日㈯に市民センターで開催されました。

当市の国際交流三団体の語学学習者が出場し、当協会からは渡辺史郎さんと田桐美佳さんが英語学習を始めた動機と、二人の掛け合いでテキストの場面を演じ、会場から大きな拍手を受けていました。

なお、このスピーチ大会に出場した田桐美佳さん（写真左）が一月に逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

ネイティブの講師による英会話講座（前期）

平成29年4月5日（水）から6ヶ月間（20回）、初級2クラス・中級2クラスで、各クラス定員25名です。

●申込方法
往復葉書で、必要事項（①住所 ②氏名 ③連絡先電話番号 ④一般又は学生を明記）を記載して東村山市役所（市民相談・交流課）へ

●受講料・他
- 6カ月分13.000円
- 年会費（一般2.000円、学生1.000円）
- テキスト代（実費）

●申込資格
当市在住・在勤及び在学者（高校生以上）

●申込締切
平成29年3月10日㈮

●その他
定員を上回った場合は、抽選といたします。
なお、詳細は3月1日付市報、当協会HPをご覧ください

（英会話委員会）

平成29年度 第34回イ市派遣団員募集

姉妹都市インディペンデンス市を訪問する団員及び引率者を募集します。

派遣期間：8月5日（土）～8月20日（日）
内　　容：イ市の家庭にホームステイし、生活体験・親善と交流を深め、文化を理解するほか
対　　象：団員：中学3年生～22歳（申込時）
：引率者：25歳～60歳（申込時）
英語に通じ、団体引率に適した心身共に健康な方
定　　員：団員10名・引率者1名
費　　用：約25万円（渡航費用及び諸費用）
＊引率者の渡航費用は東村山市国際友好協会が全額補助

申込書配布：本庁舎1階・市民相談・交流課で配布中
申　　込：団員＝3月13日（月）、引率者＝3月6日（月）までに必要事項を記入し、直接又は郵送（期日必着）で市民相談・交流課へ
選 考 日：団員3月26日（日）午後4時、引率者＝個別に設定のうえお知らせします
選考方法：書類、面接（簡単な英会話など）

詳細は当協会HP又は市報（2月1日発行）をご確認ください

（派遣委員会）

事前説明会
日　時：3月3日（金）、3月4日（土）いずれも午後7時30分から
場　所：市民センター（3日は第3会議室、4日は第4会議室）

イ市から来市する学生親善訪問団のホストファミリーを募集中です。

3月3日応募締切

訪問団員は2週間、市内の家庭にホームステイし、文化体験や市民との交流を行います。
今年は引率者（女性）1名と学生（高校生・大学生）男子6名・女子4名が訪問します。
訪問期間は6月9日（金）～23日（金）です。申込・お問合わせは市民相談・交流課へ

写真で振り返る1年間

平成28年度当協会の年間活動

一年の計は総会から
（岩瀬会長挨拶 5月）

イ市からの訪問団員を迎えて、緊張の中にもなごやかな空気がただよう（ウェルカムパーティー 6月）

二中生と坊主めくりをして盛り上がり訪問団員との会話は活きた英語学習（6月）

クリスマン高校で同世代の友と交流（イ市にて 8月）

「ああだ、こうだ」と熱心な編集会議
（年3回の広報紙発行）

越谷市で国際交流活動を学んだ（役員・委員研修 10月）

多くの会員と共に歌ったクリスマスソング
（全会員対象のクリスマスパーティー 12月）

派遣生は無事大役をはたして、市長室で帰国報告（11月）

産業まつりで初の「のぼり旗」をかかげて
焼きそば完売！（11月）

姉妹校だより

心をみがき共に生きる「世界とかかわる子」
～姉妹都市訪問団との交流を通して～

回田小学校 校長 曽我部 多美

回田小学校では、東村山市の姉妹都市インディペンデンス市から、毎年大学・高校生の訪問団を、5年に一度の記念式典を実施する節目には大人の訪問団を迎えて、今年で28年目になります。回田小学校の教育目標「世界とかかわる子」は、体育館での歓迎の全校児童集会で、訪問団と交流する子供たちの姿に表れています。おもてなしとして日本の良さを伝えるために、子供たちも「姉妹校友の会」の保護者の皆様も一緒に、知恵を出し合い時間をかけてのこの交流活動のための準備も、本校の伝統として定着しています。

「遠く離れていても心は一つ」という言葉とこの交流の成果を強く感じたのは、平成23年の東北地方の震災時に、イ市の子供たちから、私たちの生活を心配する多くのメッセージや東北地方への義援金が本校に寄せられたことでした。これからもこの交流活動が日米の友好の懸け橋となるよう、また、子供たちにとって回田小学校でしか出来ない特色ある教育活動として大切にしながら、国際友好協会の皆様と共に、30周年、40周年へと伝統を引き継いで参ります。

訪問学生と楽しく交流

お知らせ

◇総会

H29年度の総会・親睦会は、5月20日㈯14時より市民センターにて開催いたします。

◇年会費納入のお願い

H29年度の会費は会員拡充委員が、7月下旬よりお預かりに伺います。その際、広報紙と粗品をお届けします。

編集後記

今年度最後の広報紙は会員向けのクリスマスパーティーや写真で振り返る一年間等を載せました。広報委員会で当協会を広く市民に広める一助として、産業まつりの時に、のぼり旗を揚げたらPRになると思い作りました。ご覧いただけましたか？

人と人
発行：東村山市国際友好協会
編集：広報委員会
東村山市本町 1－2－3
東村山市役所内
☎393-5111 内線2558・2559
http://www.h-ifa.com/

あの人はいま

高橋（旧姓：高林）藍子（第 14 回派遣生）

私は，平成14年に派遣団員としてインディペンデンス市を訪問しました。イ市に，パーロファミリーという姉妹２人と両親ができました。日本から遠く離れたイ市には，小さな幸せを大切にしながら，世界の愛と平和を願う人たちがいました。短い滞在期間でしたが，一生宝物になる出会いがありました。

今，私は，海外に移住することもなく，山と海に囲まれた高知県で弁護士をしています。今では自由自在に（？）土佐弁を操りますが，英語を使うことはあまりありません。しかし，イ市への派遣団として訪問を通じて感じた，「身近な幸せを守りたい。」という思いが，司法過疎地で弁護士になったことに影響しているのだと思います。世界中に，身近な幸せを実現できずに，困っている人達はいます。まずは，自分の国である日本の中で，身近な幸せを守りたい。私は，イ市での経験を通じてそう思いました。イ市での経験と，司法過疎地で弁護士になったことは，関係がないようで実はあるのです。

先日，ホストシスターのメーガンが，イ市派遣団の引率者として東村山を訪問した際に，ウェルカム・パーティーに出席し，14年ぶりの再会を果たしました。引率者としてのスピーチを立派に成し遂げたメーガンの姿に，感動の涙がこぼれました。遠くにいても，ファミリーとしてつながっていることを，改めて実感できました。素敵な人たちとの繋がりを感じながら，今日も私は，高知県内を奔走します。

14年ぶりの再会！
筆者（右）